

片倉山の岩間堰に施工された掛樋の復元模型

製作 五郎兵衛記念館 山浦修一さん

横から見た掛樋



正面から見た掛樋



斜め下から見た掛樋



※ 江戸時代農業用水路で用いられた掛樋、それがどのような工作物であったかという、残念ながら出来形図面は記念館古文書の中にはありません。ただそれをうかがう文献として、江戸時代に農民支配を司った役人を地方(じかた)役人と呼びますが、その役人達が心得ていなければならない行政全般、それは検地・治山治水・農林水産技術・租税課役等々について、詳しく述べたものに『地方凡例録』(じかたはんれいろく):慶応2年(1866)があります。、漢語で記されておりこのように具体的図解説明はされていません。ですから、この立体模型は大変貴重なものです。